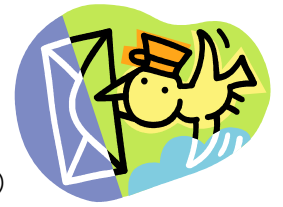


コラム～安全だより～



●令和3年9月（通算第105号）

発行：
公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

刈払機を使えば、飛び石は必ず発生するもの。

石が飛んでも、自分自身はもちろん、一緒に作業をする人や通りがかりの人、そして周辺の物を、傷つけないようにするにはどうすればよいでしょうか。

飛び石の事故を防ぐためには

石は左側に飛ぶ

飛び石の距離は、
10数メートルになる

～少しでも、被害を軽くするためには～

◆作業のやり方◆

養生なしで、刈払い機は絶対に使わないことです。

◆作業をする人◆

保護具をつける

縁石の周り等は手刈りをする

◆器具の扱い方◆

作業前に、機器類の点検・整備を、十分に行う

草を刈る地面に対して、ハンドルが傾かないよう、水平に保つことを意識する

草を刈る位置を、地面すれすれにせず、地面から数センチ離す

左右の振り幅を小さくする

カッターの回転数を低回転にする

飛ぶ石から防護する

防護ネットをしっかり張る
…別の作業者がもつこと

作業中は、半径5m以内を、立ち入り禁止にする

作業中は、作業員同士は、15m以上離れて作業をする

飛び石で破損させたくない物に、板や段ボール等で養生をする

高さ 1.8m 以上 } が望ましい
幅 2.5m 以上 }

車・ホースなど、あらかじめ可能なものを移動しておく

作業の前に、作業する範囲とその周辺の小石を、掃いて取り除いておく

→小石は、道路の脇や車道と歩道との間の路肩に、多く集まるもの

周囲に近づく人や物があるときは作業を中断する

草を刈る場所と、小石の集まる場所と、距離をとる

飛ぶ石をなくす

飛ぶ石を減らす

飛ぶ石の威力をへらす